

発議第3号

協議テーマに係る意見書の提出について（若者の社会参画委員会）

意見書を次のとおり提出するものとする。

令和7年1月25日提出

若者の社会参画委員会

委員長 太田 快 征

泉 理 世

宇佐美真依

勝 花 銀 汰

川 井 琴 音

長 井 僚 汰

野 口 颯 太

平 野 優 音

ベップルカス

意見書（若者の社会参画委員会）

当委員会の所管事項に関し、高校生の視点から、以下の項目について提案するものです。

記

1. 事前に政治について学習できる機会を設ける

- ① 成人になった時、困らないように学校において市内全ての学校で課外授業を行う。
- ② 議員による出前授業や政治に対する具体的なイメージを持ってもらうための模擬投票を行う。
- ③ 特別な投票方法について、郵便投票や不在者投票、期日前投票などについて学べる機会を設ける。
- ④ 街中で年齢に関係なく、参加できるイベントを設け、若者言葉やインパクトのある言葉や書いてあるティッシュなど、興味を持ってもらいやすいノベルティの配付をする。

2. SNSを活用し、政治が身近にあることを感じてもらう。

- ① 選挙に関する言葉や普段使い出来るような言葉を盛り込んだ議長の猫耳ラインスタンプの作成。
- ② 運営しているSNSを知ってもらうための、広告をSNSに出す。
- ③ 政治を身近に感じてもらうためキャッチーな投稿を行う。

3. 高校生がさらに社会とかかわれるように気軽に集まりやすい場所をつくる。

- ① 駅の近くにセルフカフェなどの市営の施設を充実させる。
- ② 駅前だけでなく、市内の色々なところにも同様の施設をつくる。
- ③ 混雑状況の確認や予約など、ネットで手軽にできるシステムを導入したスポーツが手軽にできるような校則に違反しない屋内の施設や公園をつくる。
- ④ 保護猫カフェなどのほっこりできる施設をつくる。
- ⑤ 月替わりの映えスポットをつくる。

以上、意見書を提出します。

令和7年1月25日

四日市市議会高校生議会

四日市市議会宛